

～漁港や海水浴場が栄える地域で流域治水の推進～

○気候変動による水災害の激甚化・頻発化に対応するため、野原川、瀬崎川、大丹生川においても事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

対策内容

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河川等整備
 - ・河川等の維持管理
 - ・土砂災害を防止する施設の整備・維持
 - ・流域の雨水貯留機能の向上・保全

- 被害対象を減少させるための対策
- ※対策が実行され次第、掲載します

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・水災害リスク情報空白地帯の解消
 - ・住民の水害リスクに対する理解促進の取組
 - ・土砂災害危険区域等の指定
 - ・実績浸水深などの現地表示
 - ・土地等の購入に当たっての水災害リスク情報の提供
 - ・避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
 - ・確実な避難行動の実施
 - ・避難場所・避難経路の浸水対策
 - ・水防工法等の訓練や土のう等の備蓄資材確保など水防活動の支援
 - ・緊急車両の移動経路の確保

※災害からの安全な京都づくり条例に基づき、府、市等が一体となって防災対策を推進



図-1 維持掘削・河道内樹木伐採



凡例

- 京都府管理河川
- 流域界
- (完) 対策完成
- 流域内各地の対策
















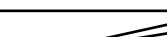
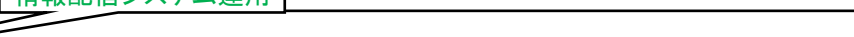








図-3 マイクロ呑龍(各戸雨水貯留施設)



※本図は全対策の内、代表的な対策を記載している。
※具体的な対策内容については今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～漁港や海水浴場が栄える地域で流域治水の推進～

●野原川、瀬崎川、大丹生川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 【短期】「避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実」等のソフト対策を実施する。
 【中長期】浚渫や樹木伐採等の維持管理を行うとともに、「確実な避難行動の実施」等のソフト対策の充実を図る。

区分	主な対策内容	実施主体	工程 ( 対策実施中  対策完成)	
			短期(令和5年度～令和9年度)	中長期(令和10年度～令和34年度)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川等の維持管理	京都府		
	土砂災害を防止する施設の整備・維持	京都府		
	流域の雨水貯留機能の向上・保全	京都府・森林整備センター		
被害対象を減少させるための対策	—	—		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報空白地帯の解消	京都府・舞鶴市		
	住民の水害リスクに対する理解促進の取組	舞鶴市		
	実績浸水深などの現地表示	舞鶴市		
	土地等の購入にあたっての水害リスク情報の提供	舞鶴市		
	避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実	舞鶴市		
	確実な避難行動の実施	京都府・舞鶴市		
	避難場所・避難経路の浸水対策	舞鶴市		
	水防工法等の訓練や土のう等の備蓄資材確保など水防活動の支援	舞鶴市		
	緊急車両の移動経路の確保	舞鶴市		

舞鶴市総合モニタリング
情報配信システム運用

舞鶴市防災アプリの整備

気候変動を踏まえた更なる対策を推進